

XMLマスター取得者アンケート調査結果を公表

～ 77%が実用的な試験問題と評価 ～

XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学名誉教授兼 W3C Associate Chairperson）は、「XML マスター：ベーシック」取得者に対し Web 上で実施したアンケート調査結果を本日より公表いたします。

アンケート調査は「XML マスター：ベーシック」資格の最新の認定試験である「XML マスター：ベーシック V2」試験の合格者を対象に 2007 年 4 月 4 日(水)～ 2007 年 4 月 13 日(金)に行われ、526 名からの回答が得られました。

調査結果では、「XML マスター：ベーシック V2」試験の受験勉強期間は「2 週間以上 1 ヶ月未満」がもっとも多く全体の 34%、試験勉強をなにで行ったか〔複数回答可〕については「書籍」(89%)、「インターネット」(29%)、「教育コースの受講」(22%)という順位となりました。

試験難易度は「予想通りの難易度だった」の回答がもっとも多く全体の 58%、試験時間は 80% の人が「適切」と回答しています。試験問題が実用的な内容でしたかという問いに対しては、まだ実務に携わっていないため判断できないという人を除いた回答者 302 名の中で 77%の人が「実用的な試験である」と評価しました。

資格取得のメリット〔複数回答可〕としては「XML 及び XML 関連技術についての勉強になった」(91%)、「XML 及び XML 関連技術についての自信がついた」(41%)、「社内で報奨金(一時金)がもらえた」(27%)、業務に役立った(23%)などが上位に挙がりました。

今回のアンケート調査結果の詳細は下記の Web サイトよりご覧いただけます。

<http://www.xmlmaster.org/survey/sur070403/result.html>

XML 技術者認定制度(XML マスター)について

「XML マスター」は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に 2001 年 8 月に発足された認定制度で、既に 1 万 4 千万名を超える認定技術者を輩出しています。XML 及び XML 関連技術の基礎を理解し、業務に活用できる技術力を認定する「XML マスター：ベーシック」と専門分野における XML の高度な技術力を認定する「XML マスター：プロフェッショナル」の 2 つのレベルの認定で構成されています。

詳細はこちら：<http://www.xmlmaster.org/>

XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会は、以下の企業および団体によって構成されます。

- ・ XML コンソーシアム
- ・ 外資系情報産業研究会（略称：FIIF）
- ・ インフォテリア株式会社
- ・ NEC ソフト株式会社
- ・ NEC ラーニング株式会社
- ・ 株式会社大塚商会
- ・ グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社
- ・ 日本アイ・ビー・エム株式会社
- ・ 株式会社日立システムアンドサービス
- ・ 株式会社日立製作所
- ・ 株式会社 PFU
- ・ 富士通株式会社

<お問合せ先>

office@xmlmaster.org

（電子メール）

<http://www.xmlmaster.org/>

（ウェブサイト）

嶋 かおる

（担当）

以上